

広報 かわぐち

No. 135
昭和60年

1月

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場企画課
(〒949-75 0258(代)89-3111)



おめでとうございます

(西川口上空より東川口を望む)

おもな内容

青柳町長 新年のごあいさつ 2~3
関町議会議長 新年のごあいさつ 4
田麦山小学校完成 5
新春特集 高速交通時代の幕あけ 6~7

町史こぼれ話 8
スポーツコーナー 9
健康シリーズ 10
お知らせコーナー 11~12

広報かわぐち 60.1.1 (12)

雪おろしは危険がいっぱい

ガス・水道設備

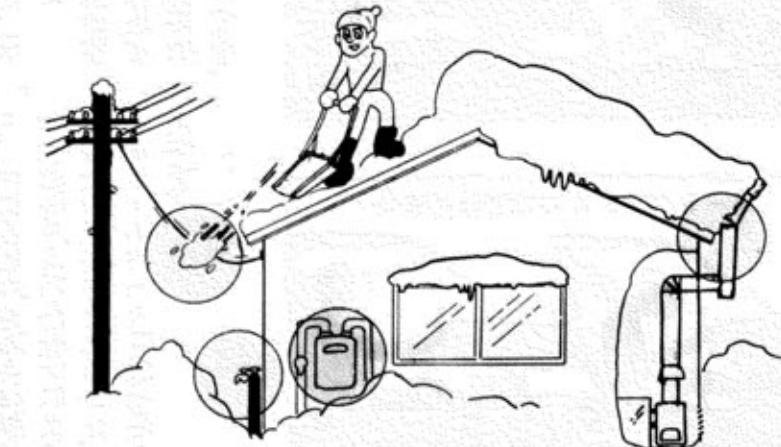
ご家庭のガス・水道設備は、雪のために次のような故障や事故を起こしやすくなりますので、雪降ろしや除雪の際には充分な注意をお願いします。

- ▽ 雪降ろしにより、風呂釜や湯沸器の排気筒が折れたり、給気口が埋まつたりすると給排気不良による酸欠やガス中毒のおそれがあります。
- ▽ 屋外のガスマーターやガス管は、雪に埋もれると雪の重みで破損し、ガスもれや火災の原因となります。
- ▽ 屋外の水道管の蛇口や立ち上り管が積雪や雪降ろしにより破損すると渇水期でもあり地域的な水不足の原因となります。

*問い合わせ 企業課

雪おろしによる落下事故も毎年発生しています。

無理のない計画で実施しましょう。



感電事故

屋根の雪降ろしの際、引込線に雪をぶつけたり、トランスや頭上の電線に触れないように注意してください。

万一、引込線を切ったり、切れた電線等を見かけたら、東北電力小千谷営業所(☎82-4365)へ、お知らせください。

電話線切断

屋根の雪降ろしの際、電話の引込線に雪をぶつけないようにお願いします。

万一、引込線を切った場合、故障受付 ☎113へ
冬期間は特に引込線切断事故が多発するため、処理に時間がかかるっています。(小千谷電々公社)

1月の社会教育(予定)

新春囲碁・将棋大会	…1月13日(日)
AM 9:00～PM 6:00	
総合福祉センター	
参加費 一般	1,200円
中学生	600円
中山地区館婦人集会	…1月17日(木)
PM 7:30～PM 10:30	
中山集落開発センター	

交通事故のご相談は
お気軽にどうぞ!

無料でご相談に応じております。

- ・午前 9時30分～ 午後 4時30分(平日)
- ・土曜日は正午まで(第2土曜日は休みます。)
- ・専門の相談員が親身になってご相談に応じます。
- ・弁護士相談日 毎週水曜日 午後 1時～4時
- ・社団法人日本損害保険協会新潟自動車保険請求相談センター 新潟市本町通7番町1082
- ・興亜火災新潟支店ビル5階
- ・新潟調査事務所内 ☎0252-25-1851
- ・0252-25-2225

電話のご相談もお受けします。

人口	昭和60年1月1日現在
6,598人	
男 3,237人	
女 3,361人	
世帯数 1,514戸	

'85

調和のとれた
活力のある

年頭のごあいさつ

弘



川口町長
青柳

町の事業は順調

こうした内外共に激動する社会経済情勢の中で、当町におきましては、計画いたしました各般の事業が、いずれも予定のとおり極めて順調な進展をみており、また一步前進をすることが出来た年であつ

おめでとうございます。
昭和六十年の初春を迎え、
謹んで新年のお慶びを申し上
げます。

國際情勢

たと思います。

をはじめ、数多くの国庫補助事業を新規に採択いただき、完成を見ることが出来ました。また、継続事業につきましても、「農村基盤総合整備事業」をはじめ「新農業構造改善事業」「農業生産基盤整備事業」や「町道改良」から「災害復旧」まで各種の国庫補助事業を順調に実施することが出来た訳であります。

今年は上越新幹線の上野乗り入れ、関越高速自動車道の全線開通といよいよ高速交通時代の到来であります。「東京川口会の皆さんのお力添え

理的な町村經營」によって
一、既定経費並びに制度の總
見直しをおこない、経費支
出を厳しく抑制する。

二、起債（借金）による事業
は、厳しくこれを抑え、公
債費は、交付税に「見かえ
り」のあるものを選択する
三、国庫補助事業は、積極的

木の全国交流大会では、農政局よりナンバーワンの折り紙をいただき、大成功を収める事が出来ました。

また、当町出身の東京在住の方々との交流を深めるため、「東京川口会」の結成を見る事も出来ました。

などの施策の成果がみのりまして、「人件費比率は、かつて四二・五%が二九・二%」に「経常収支比率は八六・七%が七二・一%」に、また「公債費比率は一五・七%が一二に導入する。

都市と農村との
交流事業発足

定住構想の条件整備 学校教育施設の充実

さて、昭和六十年を迎えるにあたりまして、私は皆様から寄せられました信頼と期待に応えるべく、思いを新たにいたしますて、町政発展のため全力を傾注する決意であります。

すでにご案内のとおり、
気の先行きは極めて不透明
に加え、国が強力に進めてお
ります「行政改革」「財政重
建」の重圧は想像をはるかに
超えた極めて厳しいものでも
り、地方財政を取りまく環境



おめでとうございます。

今年は、昭和六十年代の幕あけと同時に、新潟県にとつて意義ある年といえます。

越自動車道全線開通が予定され、今まさに「高速交通時代の昭和六十年代突入です。」
高速交通時代のメリット、デメリットは多々あると思います。
このことをふまえて、町では、かねてより高速交通時代に即、対応できる町づくりにむけて、各種の補助事業を導入し、多くの事業にとりくんできましたところです。

運動公園の PR拡大を望む



田麦山

町のレジヤー施設を
もつと充実させて



西川口

華やかに開業された上越新幹線も、今年三月には上野乗り入れが決定され、また秋には関越自動車道も全線開通予定と聞きます。

このような交通の発達により大都市はさらに近く感じます。

Rに力を入れたらと思います。そこで私は思うのです。これら立派な施設に恥ない心豊かな人間にならなくてはと。また、都会に就職した仲間達がUターンしてきくなるような活気あふれた町にしてい

い止める対策が大いに必要だと思います。

ところで全国に誇る運動公園に恵まれてゐる私達、町外

高速時代の幕開けが、明るい時代への幕開けとなつてくれることを願つています。

かなくてはと思ひます。

通勤通学の足 不便さも解消



和南津
丸山和子さ

われているインターが、通勤の行き帰りにまばゆいばかりの灯りをはなっています。しかし、この華やかさを喜んではばかりはいられない気がします。高速道ができたことによって、めっきり客足が減った幾つかの店を私は見ていました。経営者もさることながら、従業員の何人かはよぎなく失業してしまったのです。車社会の現代とはいえ道路が良くなつたと単純に喜べない一面ではないでしょうか。

り入れや、関越自動車道全線開通予定などで、本格的な高速交通時代が幕をあけたわけです。

になるにしたがつて、人口の減少に拍車がかかるのではなか
いかと、私は恐れています。
また、この川口町には、若者や中高年者をひきとめるよ
うな企業は、これと言つても

野まで乗り入れ、秋には関越自動車道全線開通予定と、又一足首都圏に足を踏み入れたような気がします。

家でも子供に「新幹線が上野まで開通したら、日帰りが出来るから動物園でも行つて来るか」そんな話も出るようになりました。しかし、高速交通時代と言つても日常生活の私には、あまり関係のない事です。それよりも毎日通つ

ているバスや汽車の便が良くなる事の方が大切です。通勤、通学時にもう一本ぐらいのバスが通っても良いと思うし、時間も朝の五分でも遅れると困る事が多いのです。何年か前には、大湯方面と長岡間に急行バスも日に何度か通っていましたと聞きました。自家用の車で出かける事も多い反面、バスや汽車を利用する人も、まだまたたくさんいらっしゃると思います。高速時代も良いのですが、毎日の生活に利用する者こそ、利用しやすいよう、町当局のご努力をお願いしたいと思います。

新春特集

昭和60年代は 高速交通時代の幕あけ

地域住民の理解と協力によつて合意を形成しながら、「調和のとれた活力のある温かい町づくり」

へ、施策は着々と成果があがりつつあります。

々を無作為抽出し、町づくりへの検討として寄稿いたしました。

行財政改革推進中の厳しい時代ではありますが、新しい行政ニーズに応えるためには自立への努力を続けなければなりません。

あなたの声こそ、民主政治の柱となるものです。

みなさんの声をここに紹介します。

次、三次産業においては、太平洋側をリーダーとして発展してきたのは周知の事実である。反面、東北・北海道地盤がその不利性からなおざりにされ、単に労働力の供給源としてのみ位置づけられて来た訳である。

メリットとデメリットが相半ばする格好である。とまれ日本ノ、そして東北の開発といふ点で据えるならば、やはり再開発のきつかけとなる大きな要因である。

そこで、私なりに二十一世紀を展望した中で、この高速交通体系を考えてみたい。

二十一世紀への地域づくりの課題を自分なりにまとめてみると次に要約できると思う

働きかける事のできる場として提供して行く。

これらは単に行政のみにまかせ、おんぶにだっこではなく、我々商工業者、そして住民一丸となつて行動して行かなければならぬ。そのためのコンセンサスを得る事と、その方法論について策定することが地域の活性化のための第一ハードルと考えるものであります。

①定住、交流型社会を促進するための自然環境への対応。
②地域の生活、生産基盤をなす交通通信体系。③地域活力の原動力となる産業の活性化
④快適な住環境の創出。⑤個性あるコミュニティと地域文化の創造。⑥地域の行動計画と開発システムの具体化。

以上の中で高速交通体系を利用した地域づくりの二十一世紀プロジェクトとして、二つほど考えてみた。①地場産業とハイ・テクとの全体による高附加価値化をはかり、連鎖化、関連化をしつつ地域全体の産業の活性化をする。②すぐれた自然環境を利用した地域の特性のあるリゾート作り。観光客が能動的に自然に

